

Fedora 9 Java 6 SDK のインストール

[Fedora Core]

ダウンロード

- <http://java.sun.com/javase/ja/6/download.html>
- jdk-6u10-linux-i586-rpm.bin

インストール

<http://java.sun.com/javase/ja/6/webnotes/install/jdk/install-linux.html>

インストール形式 - JDK のバージョンのインストール形式は次の 2 通り

1. 自己解凍バイナリファイル - JDK を任意の場所に簡単にインストール可能
2. RPM パッケージ - デフォルトで、Linux 付属のシステム版 Java プラットフォームが上書きされる

RPM パッケージを選択

権限を変更

```
[root@ryujiyu work]# chmod a+x jdk-6u10-linux-i586-rpm.bin
```

インストール - ライセンス契約に同意する

```
[root@ryujiyu work]# ./jdk-6u10-linux-i586-rpm.bin
Sun Microsystems, Inc. Binary Code License Agreement

for the JAVA SE DEVELOPMENT KIT (JDK), VERSION 6

SUN MICROSYSTEMS, INC. ("SUN") IS WILLING TO LICENSE THE
.
Do you agree to the above license terms? [yes or no]
```

RPM パッケージが以下のリンクを作成

リンク	内容
/usr/java/latest	Sun Microsystems が最新バージョンとみなす <u>Java</u> のバージョンを指します。 パッケージをアップグレードした場合、この値が最新のバージョンでない場合は上書きされます。
/usr/java/default	デフォルトで /usr/java/default は /usr/java/latest を指します。ただし、管理者が /usr/java/default が他のバージョンの <u>Java</u> を指すよう変更した場合は、その後のパッケージのアップグレードも管理者によって行われ、上書きされることはありません。

DK がインストールされると、JRE リンクとは別に javac jar と javadoc へのリンクが作成されます。これらのリンクは、/usr/java/default によって参照される適切なツールを指します。

Sun の Java に変更

インストールしただけでは、java コマンドが、openjdk を指しているので、変更する。
javac は、Sun のコマンドを指している。

javac を確認

```
[root@ryujyu bin]# ls -l /usr/bin/javac
lrwxrwxrwx 1 root root 27 2008-11-18 00:05 /usr/bin/javac -> /usr/java/default/bin/javac
```

alternatives コマンドで Sun JDK を登録

```
[root@ryujyu bin]# alternatives --install /usr/bin/java java /usr/java/default/bin/java 30
```

alternatives コマンドで Sun の JDK をデフォルトに

```
[root@ryujyu bin]# alternatives --config java
```

3 プログラムがあり 'java' を提供します。

選択	コマンド
*+ 1	/usr/lib/jvm/jre-1.6.0-openjdk/bin/java
2	/usr/lib/jvm/jre-1.5.0-gcj/bin/java
3	/usr/java/default/bin/java

Enter を押して現在の選択 [+] を保持するか、選択番号を入力します :3

変更された

```
[root@ryujyu bin]# java -version
java version "1.6.0_10"
Java(TM) SE Runtime Environment (build 1.6.0_10-b33)
Java HotSpot(TM) Client VM (build 11.0-b15, mixed mode, sharing)
```